

神奈川県社保協ニュース

神奈川県社会保障推進協議会 【NO. 26-3】 2026年8月31日発行
 横浜市中区桜木町3-9 平和と労働会館6F TEL045-201-3900 FAX045-212-5745

10.3 介護保険のいま と未来を考えるつどい

10月3日（土）13:30～16:30 横浜市県福祉総合センターの8階大会議室で、「介護保険のいまと未来を考えるつどい」を開催します。講演は、日下部雅喜さん（大阪社保協介護保険対策委員長・岐阜県下呂市社保協会会長）による、「介護保険改悪を止めよう！介護保険事業計画で改善をめざそう！」です。

国は、介護保険の利用料引き上げ、有料老人ホーム入居者のケアプラン有料化などを実施しようとしています。一方、介護保険保険者の市町村では、来年4月から3か年の「第10期介護保険事業計画」が始まります。この秋、国への介護保険制度の改善の請願署名運動、市町村との懇談をすすめていきます。

「介護保険のいまと未来を考えるつどい」は、新介護署名を広げる運動と、市町村の第10期介護事業計画へのとりくみのスタート集会と位置付けます。多くの方の参加をお待ちしています。

<参加申し込みURL・QRコード>

<https://x.gd/YSHxU>



<第18回 介護保険のいまと未来を考えるつどい>

これ以上の介護保険改悪を止めよう！
 介護保険事業計画での改善めざそう！

日時：10月3日（土）13:30～16:30（13:15 開場）

会場：横浜市健康福祉総合センター8 階大会議室 AB

【プログラム（予定）】

第Ⅰ部<学習講演>13:30～15:00

介護保険改悪を止めよう！介護保険事業計画で改善めざそう！

日下部 雅喜さん（大阪社保協介護保険対策委員長・岐阜県下呂市社保協会会長）

第Ⅱ部<取り組み交流>15:15～16:30

◇ とりくみの報告（介護利用者・家族、事業者、従事者などから）

◇ 今後のとりくみ提起（実行委員会）



参加申し込みURL・二次元バーコード

<https://x.gd/YSHxU>

◆事前の参加登録をお願いします。
 ◆または 045-201-3900 にお電話ください。



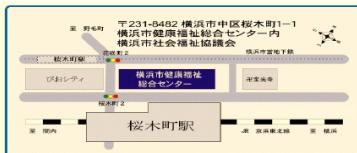
ZOOM視聴URL・二次元バーコード

<https://x.gd/IY5Eg>

ミーティングID: 884 5064 5611

パスコード: 455103

◆10月3日（土）13:15～接続できます。



資料代 500 円（会場参加）

介護保険制度開始から26年が経過しました。介護報酬は低く据え置かれ、介護事業所の倒産・廃業件数は過去最多、人手不足が深刻化し肝心の処遇改善は進んでいません。こうした中で、利用料の引き上げ、有料老人ホーム入居者のケアプランの有料化が実施されようとしています。

介護保険の保険者である市町村では、来年4月から3か年の「第10期介護保険事業計画」が始まり、新たな介護保険料が決まります。市町村と懇談・交渉し、保険料の引き下げ・据え置きなどを求めましょう。

すべての人が安心して介護を受け、介護従事者も尊重される制度の実現には、国の財政支援の強化が必要です。

「介護保険のいまと未来を考えるつどい」は、新介護署名を広げる運動と、市町村の第10期介護事業計画へのとりくみのスタート集会と位置付けます。多くの方の参加をお待ちしています。

◆講演レジュメ・資料は、前日までに神奈川社保協ホームページにアップします。神奈川社保協ホームページからダウンロードしてください。
<https://kanagawa-shahokyou.jp>

介護保険のいまと未来を考えるつどい実行委員会
 神奈川県社会保障推進協議会（TEL045-201-3900）

市町村懇談・要請、社会保障制度の改善運動をすすめよう！！

国民健康保険では、市町村国保調査票を全市町村に発送し、10月中旬には全市町村の回答集計が完了できるよう取り組んでいます。この2年間、全33市町村との懇談を進めていますが、この秋、市町村国保の運営、保険料（税）などの現状と今後の見通しについて要請・懇談します。そして、11月14日（土）に全県国保改善交流集会を開催します。多くの方の参加をお願いします。

神奈川県、市町村の9月議会が開催されます。9月議会に「国に対し、OTC 類似薬の追加負担の実施を見送ることを求める意見書提出の請願（陳情）」の提出運動をすすめています。生協労連ユーコープ労組は、神奈川県と全33市町村に陳情（請願）を提出します。各地域社保協を中心に、該当市町村議会に請願（陳情）提出をすすめています。また、神奈川県が「高齢難聴者補聴器装用推進事業」を開始したことも後押しとなり、各地域社保協と年金者組合を中心に、加齢性難聴の補聴器助成制度の設置・拡充を求める市町村への要請、議会請願（陳情）の取り組みをすすめています。



昨年の相模原市との懇談

後期高齢者医療神奈川県広域連合議会「決算」など可決

8月19日、かながわ労働プラザで、後期高齢者医療神奈川県広域連合議会が開催されました。傍聴には、年金者組合、横浜社保協、川崎社保協、藤沢社保協、茅ヶ崎社保協などから8人が参加しました。広域連合議会は、3月末とこの時期の2回開催され、今議会は、2025年度決算を可決しました。

神奈川県の広域連合議会の議員定数は20人で、1年で改選し、ほぼ全員入れ替わります。2026年度は、横浜市7人、川崎市3人、横須賀市1人、相模原市1人、残り8人はブロック分け選出（2026年度は逗子市・三浦市・伊勢原市・南足柄市・座間市・綾瀬市・寒川町・清川村）。会派別では、横浜市が自民2、公明2、立憲1、維新1、国民民主1。川崎市が自民1、みらい1、公明1。横須賀市は公明党1、相模原市は自民1。ブロック選出は、議長・副議長が多く、自民1のほかは諸派・無所属7です。この間、日本共産党の議員は、横浜市選出など必ず1人以上いましたが、横浜市が議員数で国民民主党の議員に替わり、日本共産党の議員はゼロになりました。



傍聴参加した方々

県社保協と年金者組合が提出した「陳情」は、満場一致で「不採択」!?

広域連合議会に、年金者組合神奈川県本部より、「子ども子育て支援納付金分保険料について、2027年度以降のさらなる賦課は行わないことを求める意見書提出の陳情」、県社保協より「国に対し、OTC類似薬の追加負担の実施を見送ることを求める意見書提出の陳情」を提出しました。

子ども子育て支援納付金分保険料のさらなる賦課は行わないことを求める陳情は、「子ども子育て支援納付金は、2027年度、2028年度と3年間、年々増える計画です。神奈川県後期高齢者医療広域連合が、神奈川県などとともに要望書を提出したことを踏まえ、国への意見書を提出することを陳情します」としています。

OTC類似薬の追加負担の見送りを求める陳情は、「OTC類似薬の追加負担導入は、自己負担を3割までとした健康保険法の趣旨に反します。患者の受療権や健康権の侵害につながり、受診控えや受診遅れなど、いのちに直結する問題となります。来年3月から実施するとしていますが、見送ることを強く求めます」としています。

陳情は、議会運営委員会で審議し本会議に回されます。議会運営委員会では、丸山治章議員（逗子市）は「子ども子育て支援金の保険料賦課は、深刻な少子化の改善に対して、どうしていくか分水嶺に立っている。改善に向けて医療保険料で負担すると舵をきった。被保険者の方の負担が大変ということは理解するが、必要なことなので今後の状況を見守っていただきたい。よって不採択とすべき」と発言。さらに丸山議員は、「OTC類似薬の追加負担は、現役世代の負担軽減を目的とし、900億円にのぼる医療費削減効果がある。OTC類似薬は市販薬との代替性が高く、市販薬の価格との公平性の観点から必要だ。子供やアレルギー疾患の方などへの追加負担に対しては、配慮措置を秋にまとめるとしている。よって不採択とすべき」と発言しました。私たちが提出した陳情に対する発言は丸山議員しかなく、議会運営委員会は、本会議に対し「陳情不採択」としました。議会運営委員会の報告を受け、本会議で満場一致での「不採択」となりました。

この間、満場一致での陳情「不採択」はありませんでした。いままでの広域連合議会では、私たちの陳情に対して、本会議で日本共産党や立憲民主党の議員が「採択すべき」と発言していました。しかし、日本共産党の議員がゼロになると、私たちの陳情に賛同する議員は一人もいなくなり、本会議での発言もなくなりました。陳情書は、8月7日に広域連合議会事務局に提出し、すべての広域連合議会議員に、陳情書と要請文を送りましたが、対応してくれた議員は全くいませんでした。

<千葉県と山梨県は、広域連合議会に全市町村から議員選出>

神奈川県の後期高齢者医療広域連合議会の定数は、20人です。千葉県は54人で「県内市町村の議会の議員のうちから、各市町村の議会から1人」。山梨県は27人で、「県内市町村の議会の議員のうちから、市町村の議会において1人」となっています。このように、千葉県と山梨県は、全市町村から広域連合議員が選出されています。

前述のように、神奈川は偏った議員選出です。議員の選出の仕方を含めて改善を求めています。

8月24日、伊勢佐木町で定例の宣伝行動を行いました。酷暑のため30分の短時間でしたが対話を心掛けながら署名を訴えました。5団体から26人が参加し、ティッシュとチラシを230セット配布し、署名が31人分寄せられました。

2月の総選挙では、自民党も含め各政党が消費税の減税を公約に掲げましたが、その後の「社会保障国民会議」の討議はまとまらず、各政党の意見を併記する形でのまとめが行われました。8月に高市内閣は、『給付付税額控除』の制度導入の基本方針を閣議決定し、臨時国会で法案の審議を開始する予定です。こうした中での宣伝行動ということもあり、さまざまな意見が寄せられました。

「今の日本は本当におかしい」と、40代の女性が快く署名に応じてくれました。「こうした取り組みは大切ですね。やっていかないと」と2人の子供の分まで署名してくれました。60代の女性に、「インボイス廃止を求める署名を集めている」と話しかけると、「どういう制度ですか」と対話になり、税金があまりに重すぎるなど、対話が広がりました。フリーランスになるか考えているという30代の女性は、「フリーランスの方たちが運動しているのを知っています。インボイスは大変」と署名してくれました。「物価高の中で消費税は負担」(70代女性)、「軍事費を増やすのはダメ」(60代女性)と、生活の大変さや税金の使い方、消費税の問題など、関心の高さが感じられました。

<消費税廃止各界連運動推進ニュースより>



『給付付税額控除』の制度導入の基本方向

～高市内閣が閣議決定した方針の概要と主な問題点～

高市内閣が閣議決定した「基本方向」の概要は以下のようになります。

- ①2029年度(消費税食料品1%減税の終了時)に所得連動給付を行う。
- ②対象は、勤労性所得があり、税・社会保険料負担がある者。
- ③所得連動給付を行うまでのつなぎ(経過措置)として、2027年4月から2年間、食料品の消費税を1%に減税する。
- ④消費税食料品1%相当(約6000億円)分を所得連動給付として中低所得者の勤労者を対象に、公的機関が保有する所得情報を活用して給付する。
- ⑤仕入税額控除の還付が受けられない農業従事者等については、現場の納得感のある対応を検討。外食産業を含めて、過去の支援策を参考に、資金繰り支援等のための予算措置を検討。
- ⑥当初掲げた「給付付税額控除」の導入は検討を継続。
(秋の臨時国会に税制改正大綱をまとめ、法案を提出・成立させる方針)

今後、内容が明らかになってきますが、今でも次の様な問題点が指摘されています。

- ①給付付税額控除の対象者は国民の1割程度になる
- ②将来の消費税引き上げ、社会保障改悪の免罪符にされる恐れ
- ③マイナンバーカードの取得などが前提に
- ④給付額と必要な財源が不明確

こうした点を宣伝で訴え、消費税率5%への減税・インボイス廃止を求める世論を広めていきましょう。

<消費税廃止各界連運動推進ニュースより>

8.15 終戦記念日、平和を求めるリレートークのつどい

8月15日の終戦記念日の夕方。「平和を求めるトークのつどい」を、桜木町駅前広場で開催しました。「再び戦争が起こればどうなるか、想像してほしい」との呼びかけら、100人以上の方が参加しました。主催は、平和を求めるユナイト街宣実行委員会。神奈川労連などが協力しました。

参加者は、米国とイスラエルによるイラン攻撃や、非核三原則の見直しに含みを持たせる高市首相の姿勢を批判。「九条かながわの会」の女性は、海上自衛隊が配備を進めるアメリカ製の巡航ミサイル「トマホーク」について「殺すための兵器で、抑止力にならない」指摘しました。第二次世界大戦で3人の叔父をなくした横田静さん（旭区在住・81歳）は、縁故疎開先の長野県から大空襲後の横浜に戻った日の記憶を明かし「美しい街が焼けてしまい、涙が止まらなかった」と語りました。

実行委員会の前田康雄代表は、「人間は忘れてしまう。国際紛争の連鎖を断ち切るため、81年も戦争をしなかった日本の経験を生かす時ではないか」と訴えました。トークに聞き入っていた横浜市神奈川区の女性は、「戦争が近づく危機感がある」と話し、「現政権を支持しない」と記したプラカードを掲げていました。多くの方が「憲法9条の改悪に反対する請願署名」に記入してくださり、この行動の中で61筆も寄せられました。

＜神奈川新聞の報道記事より一部引用させていただきました＞



＜9月の主な行動・会議日程＞

- 9月1日（火）県社保協医療保険改善委員会 10:00 神商連会議室+（ZOOM）
- 9月2日（水）中央社保協運営委員会&介護障碍部会 10:30 日本医療労働会館+（ZOOM）
- 9月4日（金）県社保協第3回常幹 14:00 建設プラザ3F 会議室+（ZOOM）
- 9月5日（土）中央社会保障学校 from 盛岡 13:00 キオクシアアリーナ 8F+（ZOOM） 6日 15:30 まで
- 9月9日（水）税と社会保障一体改革反対全県一斉宣伝行動西湘キャラバン① 8:50 建設労連駐車場
- 9月10日（木）神奈川革新懇・夏の活動交流会 13:15 川崎市総合自治会館ホール
- 9月11日（金）県社保協第3回幹事会 14:00 保険医協会会議室+（ZOOM）
- 9月12日（土）日本母親大会 in 宮城 13:30 仙台サンプラザホール他 13日 12:30 まで
- 9月13日（日）沖縄県知事選投票日
神奈川労連定期大会 10:00 かながわ労働プラザ3F ホール
- 9月14日（月）消費税廃止各界連運営委員会 15:00 神商連会館会議室+（ZOOM）
- 9月15日（火）横須賀社保協再開準備会 10:30 みなみ医療生協衣笠診療所会議室+（ZOOM）
- 9月16日（水）消費税ネット世話人会&事務局会議 17:00 神商連会館会議室+（ZOOM）
- 9月17日（木）税と社会保障一体改革反対全県一斉宣伝行動西湘キャラバン② 8:50 建設労連駐車場
- 9月18日（金）介護のつどい実行委員会 10:30 民医連会議室+（ZOOM）
- 9月19日（土）国会前19日行動全国連帯スタンディングアピール 15:30 桜木町駅前
- 9月23日（火）オスプレイはいらない厚木基地を返せ！集会 15:00 大和駅前広場
- 9月24日（水）国民大運動実行委員会世話人団体会議 9:00 平和と労働会館4F 会議室
消費税廃止各界連宣伝行動 14:00 伊勢佐木町有隣堂前
- 9月27日（日）神奈川県医労連定期大会 10:30 ウイリング横浜 901 会議室
- 9月28日（月）建設労連9・28賃金引上げ生活危機突破決起集会 13:30 関内ホール
中央社保協関東甲ブロック会議 13:30 東京ラパス会館会議室
- 9月29日（火）かながわ高齢期のつどい in 川崎実行委員会 10:00 川崎ゆめホール会議室
横須賀社保協再開総会 14:00 横須賀市産業交流プラザ交流サロン
- 9月30日（水）神奈川国会行動 14:00（国会議員会館）※臨時国会開会以前の場合は実施しません
- 10月1日（木）県民要求連絡会・神奈川県との話し合い説明会 10:00（県庁内を予定）
- 10月2日（金）県社保協第4回常幹 14:00 建設プラザ3F 会議室+（ZOOM）
- 10月3日（土）介護保険のいまと未来を考えるつどい 13:30 横浜市健康福祉総合センター8F 大会議室